科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 6 月 9 日現在

機関番号: 32612

研究種目: 基盤研究(C)(一般)

研究期間: 2019~2022

課題番号: 19K01205

研究課題名(和文)地域精神医療における認知症と「自己参加型医療」:医療人類学的分析

研究課題名(英文) Dementia in Community Psychiatry and "Self-Participatory" Medicine: A Medical

Anthropological Perspective

研究代表者

北中 淳子 (Kitanaka, Junko)

慶應義塾大学・文学部(三田)・教授

研究者番号:20383945

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文):超高齢化が進み、人々が人生のあらゆる時期において脳神経的障害の可能性を意識しながら生き始めている日本においては「ライフサイクルの精神医療化」とでも呼べる状況が進行している。人生の節目節目において発達障害、うつ病、認知症といった病の可能性を視野に入れ、身体のみならず、心や脳の健康を維持・向上させることが自然となりつつある。そのような状況下、精神医学のケアが病院から地域へと移行する過程で隆盛した「新健康主義」に着目し、特に認知症や発達障害の当事者運動が心や脳をどう語り始めているのかを分析することで、「脳神経科学的共感」と名付けたあらたな共感の可能性について論じた。

研究成果の学術的意義や社会的意義 本研究は、国内外の一流雑誌を含めた英語・日本語雑誌論文17本、学会発表44(国際学会15)、図書5の成 果と、カリフォルニア大学パークレー校やエジンパラ大学、ウェルカム財団での招聘講演や、医療の社会科学研究を先導してきた学者チームとの国際連携にもつながった。英語論文の中でも特に、「脳神経科学的共感 (neurobiological empathy)」を論じたアメリカ医療人類学会誌掲載の論文はスペイン語に訳され、ライフサイクルの精神医療化とデータヘルスの関係を分析した英語論文はPsychiatric Epidemiologyに関する論文集に発表されている。

研究成果の概要(英文): In Japan, where the population is super-aging and people are beginning to live with an awareness of the possibility of neurological disorders at every stage of their lives, this research has investigated the rise of what could be called the "psychiatricization of the life cycle." Aware of such disease categories as developmental disorders, depression, and dementia, people are becoming more and more aware of the need to maintain and improve not only their physical health but also their mental and cerebral health at every stage of their lives. By focusing on the 'new healthism" that is arising at the time when psychiatric care is shifting from the hospital to the community, I have analyzed how people with psychiatric disorders are beginning to talk about themselves and to each other about the health of the mind and the brain. I argue that through this process, there is emerging a new form of empathy, or what we might call "neurobiological empathy."

研究分野: 医療人類学

キーワード: 医療人類学 精神医学 認知症 うつ病 脳 神経 老い 新健康主義

2023年科研報告書 「地域精神医療における認知症と『自己参加型医療』: 医療人類学的分析」 慶應義塾大学 北中淳子

1.研究開始当初の背景

2000年代以降の日本においては、人口の急速な老化と、とくに認知症をはじめとした脳神経科学的障害への関心が高まり、「病院から地域へ」の掛け声の下、地域精神医療の影響も一気に拡大した。本研究では、脳神経の障害に関する知識が広まる一方で、老いのスティグマ化への懸念も根強いことに注目し、この医療化が地域においてどのような健康観・人間観を生み出すのかを問うものであった。

2. 研究の目的

コロナ禍により予定されていた医療現場でのフィールドワークやインタビューが困難となる中で、当初の狭義の老いの医療化が引き起こす葛藤や新たな展望という問題意識から、より広く、発達障害やうつ病も含め、人々の人生全体に及ぶ「ライフサイクルの精神医療化」と名付けた現象に着目し、その過程で、どのように新たな心や脳の健康のケアが生まれつつあるのかの探究へとシフトした。同時に、精神医療の軸足が地域に移行する中で世界的に台頭した当事者運動にも着目し、当事者視点を反映させた精神医療、いわば「自己参加型医療」の構築が日本のみならずグローバルにどのように可能になるのかを明らかにすることを目指した。

3.研究の方法

医療現場でのフィールドワークを主軸として計画されていた調査デザインについては、コロナ禍により大幅な変更が必要となった。そのため、 引き続きできる限り臨床現場にアクセスし、zoom 等も用いた医療者とのインタビューや参与観察を行うと同時に、文献調査で地域精神医療と医療化について調査を行い、 世界各国の医師や医療研究者が集まる Global Social Medicine のチームとの国際会議や発表を行い、地域精神医療の台頭と、コロナ禍での変化についても同時進行での分析を行い、 日本の当事者運動を牽引している当事者・医療者・研究者の複数の団体での調査を重ねることで、「ライフサイクルの精神医療化」がもたらした変化について考察を行った。

4. 研究成果

本研究は、国内外の一流雑誌を含めた英語・日本語雑誌論文17本、学会発表44(国際学会 15,招待講演 38)、図書5の成果と、カリフォルニア大学バークレー校やエジンバラ大学、ウェルカム財団での招聘講演や、医療の社会科学研究を先導してきた学者チームとの国際連携にもつながった。本研究で得たもっとも重要な知見としては、日本においてもこの20年間程で発達障害・うつ病・認知症といった人

生の節目節目で心と脳の健康について人々が自らを振り返るライフサイクルの精神医療化が深く浸透しつつある状況を人類学的に描き出したことにある。特にそこで着目したのは「新健康主義(new healthism)」と名付けた脳の健康に関してうまれつつある新たな意識である。従来の欧米の医療研究においては、このような脳偏重主義の健康観がもたらすのは、人間観の貧困化と専門家支配であるとして批判的に論じられてきた。それに対して日本の、特に当事者運動の隆盛の中でうまれつつあるのは、まった〈異なる文化であった。それは、脳の変調を意識し、その障害をより身体的・親密な言葉で言語化していくことによって、これまで不可解で疎外的な現象として語られていたで精神障害をより身近な経験として捉え直す動きをもたらすと同時に、そのような変調を経験する他の当事者との、従来の疾病カテゴリーを超えた連帯を生み出している。このあらたな連帯の可能性を「脳神経科学的共感(neurobiological empathy)」として論じた、アメリカ医療人類学会機関誌掲載の論文はスペイン語に訳され、脳神経科学についての論考を集めた南米の研究者たち中心の論集にも掲載された。さらに、老いに注目し、日本におけるライフサイクルの精神医療化とデータヘルスの関係を自己参加型医療の観点から分析した英語論文は Psychiatric Epidemiology に関する論文集に発表されている。

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計17件(うち査読付論文 5件/うち国際共著 3件/うちオープンアクセス 6件)

【雑誌論文】 計17件(うち査読付論文 5件/うち国際共著 3件/うちオープンアクセス 6件)	
1.著者名	4 . 巻
Kitanaka, J., Ecks, S. & Wu, H. Y. J	398, 10304
0 AA-LEDE	= 7V./= /=
2.論文標題	5.発行年
The social in psychiatries: depression in Myanmar, China, and Japan	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
The Lancet.	948-949
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/S0140-6736(21)00999-5	有
10.1010/30140-0/30(21)00999-3	治
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
1 . 著者名	4 . 巻
Michelle Pentecost, Vincanne Adams, Rama Baru, Carlo Caduff, Jeremy A Greene, Helena Hansen,	398, 10300
David S Jones, Junko Kitanaka, Francisco Ortega	330, 10300
2. 論文標題	5.発行年
Revitalising global social medicine	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
了、推動性 The Lancet.	573-574
THE LANCET.	373-374
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/\$0140-6736(21)01003-5	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
7 7777 EXECUTION (& /2. CO) 1 /2 COO)	以二 9 0
1 . 著者名	4 . 巻
」、有有句 Junko Kitanaka	57(3)
JULINO KI LAHANA	37(3)
2 . 論文標題	5.発行年
Limits of empathy: The dementia Tojisha movement in Japan	2021年
Emilito of ompathy. The domontra regional movement in odpan	2021-
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of the History of the Behavioral Sciences	266-272
deather of the motory of the behavioral defended	200 272
担新やさのDOL/ごごクリナヴごっクし地回フト	本性の左便
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1002/jhbs.22098	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
北中淳子	63 (7)
2. 論文標題	5 . 発行年
特集 自殺の現状と予防対策-COVID-19の影響も含めて 自殺の医療人類学-生きづらさへの文化的視点	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
精神医学	1063-1072
掲載絵文のDOL(デジタルオブジェクト辨別ス)	本芸の右無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.11477/mf.1405206404	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_

	4 . 巻
北中淳子	220
2	5 36/-7
2.論文標題 嫌悪の医療人類学 (嫌悪 : ネガティブな感情はなぜ生じるのか) (嫌悪とは何か)	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
こころの科学	16-21
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
北中 淳子,黒木 俊秀	22(1)
0 AAAA 1707	- 3V./= hr
2 . 論文標題 対談 心 の病名と精神医学をめぐる対話 (特集 心 の病名を問う : 臨床における効用と限界)	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
臨床心理学	8-19
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
4 U	***
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Junko Kitanaka	6
2 . 論文標題	
Peer Review Report For: Critical qualitative research on 'madness': knowledge making and	2021年
activism among those designated 'mad'	
3.雑誌名 Wellcome Open Resarch	6.最初と最後の頁 98-98
merroome open kesaron	90-90
ᄱᆓᄾᅲᇝᇧᄼᄛᅚᄸᇿᅲᄛᅚᅟᅀᆝᅘᄜ고	本生の大畑
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	ー 査読の有無 無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4.巻
北中 淳子,福田 正知,山下 研	13
2.論文標題	5 . 発行年
Z · mm ス f m kd m	2021年
3 . 雑誌名 ヱクリヲ	6.最初と最後の頁 8-19
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>│</u> │ 査読の有無
掲載論又のDOT(デンタルイプンエクト識別士) なし	宜読の有無 無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-

1 . 著名名		
2 : 第文標題	1.著者名	4 . 巻
当事者性点の経験医学知: 医療人類学的考察(物集 ライフコース全体で考えるメンタルヘルス)・(ラ イフコースプブローチをアルチステークホルダーの視点に生かして) 3. 和話名 臨床指神医学 最誠論文の201(デジタルオブジェクト選別子) なし 1. 番名名 Junko Kitanaka & Stefan Ecks 2. 論文理題 Depression 3. 神話名 Carbridge Encyclopedia of Anthropology 期論論文の201(デジタルオブジェクト選別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 Junko Kitanaka 2. 論文理題 Deptession 3. 神話名 Carbridge Encyclopedia of Anthropology 関本語名 Junko Kitanaka 4. 巻 イープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 Junko Kitanaka 2. 論文理題 Deptession 3. 報話名 Land Openentia: Neurobiological Empathy, Incommensurability, and the Dementia Tojisha kikwement in Japan 3. 報話名 In the Bird of Dementia: Neurobiological Empathy, Incommensurability, and the Dementia Tojisha kikwement in Japan 3. 報話名 Anthropology Quarterly 開戦論文の201(デジタルオプジェクト選別子) なし オープンアクセス 1. 著名名 北中淳子 2. 論文理題 4. 巻 4(代) 1. 著名名 北中淳子 2. 論及課題 4. 巻 4(代) 1. 著名名 北中淳子 2. 論及課題 (特集 統計学/データサイエンス) 日際共著 4. 巻 4(代) 1. 著名名 北中淳子 2. 論及課題 (特集 統計学/データサイエンス) 日際共著	狩野 祐人,北中 淳子	50 (9)
当事者性点の経験医学知: 医療人類学的考察(物集 ライフコース全体で考えるメンタルヘルス)・(ラ イフコースプブローチをアルチステークホルダーの視点に生かして) 3. 和話名 臨床指神医学 最誠論文の201(デジタルオブジェクト選別子) なし 1. 番名名 Junko Kitanaka & Stefan Ecks 2. 論文理題 Depression 3. 神話名 Carbridge Encyclopedia of Anthropology 期論論文の201(デジタルオブジェクト選別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 Junko Kitanaka 2. 論文理題 Deptession 3. 神話名 Carbridge Encyclopedia of Anthropology 関本語名 Junko Kitanaka 4. 巻 イープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 Junko Kitanaka 2. 論文理題 Deptession 3. 報話名 Land Openentia: Neurobiological Empathy, Incommensurability, and the Dementia Tojisha kikwement in Japan 3. 報話名 In the Bird of Dementia: Neurobiological Empathy, Incommensurability, and the Dementia Tojisha kikwement in Japan 3. 報話名 Anthropology Quarterly 開戦論文の201(デジタルオプジェクト選別子) なし オープンアクセス 1. 著名名 北中淳子 2. 論文理題 4. 巻 4(代) 1. 著名名 北中淳子 2. 論及課題 4. 巻 4(代) 1. 著名名 北中淳子 2. 論及課題 (特集 統計学/データサイエンス) 日際共著 4. 巻 4(代) 1. 著名名 北中淳子 2. 論及課題 (特集 統計学/データサイエンス) 日際共著		
当事者性点の経験医学知: 医療人類学的考察(物集 ライフコース全体で考えるメンタルヘルス)・(ラ イフコースプブローチをアルチステークホルダーの視点に生かして) 3. 和話名 臨床指神医学 最誠論文の201(デジタルオブジェクト選別子) なし 1. 番名名 Junko Kitanaka & Stefan Ecks 2. 論文理題 Depression 3. 神話名 Carbridge Encyclopedia of Anthropology 期論論文の201(デジタルオブジェクト選別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 Junko Kitanaka 2. 論文理題 Deptession 3. 神話名 Carbridge Encyclopedia of Anthropology 関本語名 Junko Kitanaka 4. 巻 イープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 Junko Kitanaka 2. 論文理題 Deptession 3. 報話名 Land Openentia: Neurobiological Empathy, Incommensurability, and the Dementia Tojisha kikwement in Japan 3. 報話名 In the Bird of Dementia: Neurobiological Empathy, Incommensurability, and the Dementia Tojisha kikwement in Japan 3. 報話名 Anthropology Quarterly 開戦論文の201(デジタルオプジェクト選別子) なし オープンアクセス 1. 著名名 北中淳子 2. 論文理題 4. 巻 4(代) 1. 著名名 北中淳子 2. 論及課題 4. 巻 4(代) 1. 著名名 北中淳子 2. 論及課題 (特集 統計学/データサイエンス) 日際共著 4. 巻 4(代) 1. 著名名 北中淳子 2. 論及課題 (特集 統計学/データサイエンス) 日際共著	2 . 論文標題	5 . 発行年
イフラースアプローチをマルチステーク水ルダーの視点に生かして) 3 . 雑誌名 5 . 飛行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 7 - ブンアクセス 7 - ブンアクセスとしている(また、その予定である) 5 . 飛行年 2020年 8 . 雑誌名 9 . 神子ンアクセス 1 . 著名名 1 . 神子ンアクセスとしている(また、その予定である) 7 - ブンアクセス 8 . 神子・ 8 . 神子・ 9 .		
議議会	コザロパボツ作性医子和 · 医原八規子的"で家(行来 ブリンコース主体で考えるアファル"Nルス) - ・ (フィーフーファブローエをフリエフニーカホリボーの用上によれ) デ	20214
臨床精神医学		
機能なのDOI(デジタルオブジェクト機別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著名名 Junko Kitanaka & Stefan Ecks 2. 論文標題 Bepression 3. 機能名 Cambridge Encyclopedia of Anthropology 勝戦論父のDOI(デジタルオプジェクト機別子) なし 1. 著名名 Junko Kitanaka 4. 巻 34(1) 2. 論文標題 In the Hind of Dementia: Neurobiological Empathy, Incommensurability, and the Dementia Tojisha Movement in Japan 3. 機能名 Medical Anthropology Quarterly 影戦論父のDOI(デジタルオプジェクト機別子) なし 1. 著名名 Junko Kitanaka 4. 巻 34(1) 5. 発行年 2020年 6. 最初と最後の質 119-135 8 教験論父のDOI(デジタルオプジェクト機別子) なし オープンアクセス 1. 著名名 Medical Anthropology Quarterly 8 教験論父のDOI(デジタルオプジェクト機別子) なし 1. 著名名 北中淳子 4. 巻	3.雑誌名	6.最初と最後の負
機能なのDOI(デジタルオブジェクト機別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著名名 Junko Kitanaka & Stefan Ecks 2. 論文標題 Bepression 3. 機能名 Cambridge Encyclopedia of Anthropology 勝戦論父のDOI(デジタルオプジェクト機別子) なし 1. 著名名 Junko Kitanaka 4. 巻 34(1) 2. 論文標題 In the Hind of Dementia: Neurobiological Empathy, Incommensurability, and the Dementia Tojisha Movement in Japan 3. 機能名 Medical Anthropology Quarterly 影戦論父のDOI(デジタルオプジェクト機別子) なし 1. 著名名 Junko Kitanaka 4. 巻 34(1) 5. 発行年 2020年 6. 最初と最後の質 119-135 8 教験論父のDOI(デジタルオプジェクト機別子) なし オープンアクセス 1. 著名名 Medical Anthropology Quarterly 8 教験論父のDOI(デジタルオプジェクト機別子) なし 1. 著名名 北中淳子 4. 巻	臨床精神医学	963-968
### ### ### ### #####################		
### ### ### ### #####################		
1 - 著名名	- 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
ま者名 1 表	なし	無
ま者名 1 表		
1 . 著者名 Junko Kitanaka & Stefan Ecks 2 . 論文標題 Depression 3 . 雜誌名 Cambridge Encyclopedia of Anthropology 3 . 雜誌名 Cambridge Encyclopedia of Anthropology 描載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 1 . 著者名 Junko Kitanaka 4 . 巻 Junko Kitanaka 2 . 論文標題 In the Mind of Dementia: Neurobiological Empathy, Incommensurability, and the Dementia Tojisha Movement in Japan Medical Anthropology Quarterly お . 一ガンアクセス お . 一ガンアクセス お . 一ガンアクセスとしている (また、その予定である) 3 . 雜誌名 Medical Anthropology Quarterly お . 一	オープンアクセス	国際共著
Junko Kitanaka & Stefan Ecks ・	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
Junko Kitanaka & Stefan Ecks ・		
2 . 論文標題 Depression 5 . 第行年 2021年 3 . 雑誌名 Cambridge Encyclopedia of Anthropology 6 . 最初と最後の頁	1.著者名	4 . 巻
2 . 論文標題 Depression 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 Cambridge Encyclopedia of Anthropology 6 . 最初と最後の頁	Junko Kitanaka & Stefan Ecks	-
Depression 2021年 2021年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	00.110 1.10 1.10 1.110 1.110 1.110 1.110 1.110 1.110 1.110 1.110 1.110 1.	
Depression 2021年 2021年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	2. 論文標題	5 発行年
- ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		
日報論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 国際共著 有 オーブンアクセス 国際共著 34(1)	nehi essioii	2021 11
日報論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 国際共著 有 オーブンアクセス 国際共著 34(1)	2. 1854-67	6 見切に見後の否
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Junko Kitanaka 2 . 論文標題 In the Wind of Dementia: Neurobiological Empathy, Incommensurability, and the Dementia Tojisha Movement in Japan 3 . 雑誌名 Medical Anthropology Quarterly おーブンアクセス オーブンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 北中淳子 2 . 論文標題 生き生きとしたデータ: 戦後地域医療と健康 3 . 雑誌名 現代思想(特集 統計学/データサイエンス) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし		6. 最例と最後の貝
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Junko Kitanaka 2 . 論文標題 In the Wind of Dementia: Neurobiological Empathy, Incommensurability, and the Dementia Tojisha Movement in Japan 3 . 雑誌名 Medical Anthropology Quarterly おーブンアクセス オーブンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 北中淳子 2 . 論文標題 生き生きとしたデータ: 戦後地域医療と健康 3 . 雑誌名 現代思想(特集 統計学/データサイエンス) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	Cambridge Encyclopedia of Anthropology	-
### おープンアクセス		
### おープンアクセス		
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 該当する 3	なし	有
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 該当する		
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 該当する	オープンアクセス	国際共著
1 . 著者名		
Junko Kitanaka 34(1) 2 . 論文標題 In the Mind of Dementia: Neurobiological Empathy, Incommensurability, and the Dementia Tojisha Movement in Japan 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 Medical Anthropology Quarterly 6 . 最初と最後の頁 119-135 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 4 . 巻 48(12) 2 . 論文標題 生き生きとしたデータ: 戦後地域医療と健康 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 現代思想 (特集 統計学/データサイエンス) 6 . 最初と最後の頁 140-144 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	カーフファフェスとしている(また、「Cの」がたてのる)	以口との
Junko Kitanaka 34(1) 2 . 論文標題 In the Mind of Dementia: Neurobiological Empathy, Incommensurability, and the Dementia Tojisha Movement in Japan 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 Medical Anthropology Quarterly 6 . 最初と最後の頁 119-135 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 4 . 巻 48(12) 2 . 論文標題 生き生きとしたデータ: 戦後地域医療と健康 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 現代思想 (特集 統計学/データサイエンス) 6 . 最初と最後の頁 140-144 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	1 至 2 夕	л Х
2 . 論文標題 In the Mind of Dementia: Neurobiological Empathy, Incommensurability, and the Dementia Tojisha Movement in Japan 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 Medical Anthropology Quarterly 6 . 最初と最後の頁 119-135 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 		
In the Mind of Dementia: Neurobiological Empathy, Incommensurability, and the Dementia Tojisha Movement in Japan 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 119-135 119-135 2020年 Medical Anthropology Quarterly 2 119-135 2020年 有	Junko Kitanaka	34(1)
In the Mind of Dementia: Neurobiological Empathy, Incommensurability, and the Dementia Tojisha Movement in Japan 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 119-135 119-135 2020年 Medical Anthropology Quarterly 2 119-135 2020年 有		
Movement in Japan 6 . 最初と最後の頁 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 国際共著 オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 4 . 巻 北中淳子 4 . 巻 2 . 論文標題 生き生きとしたデータ: 戦後地域医療と健康 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 現代思想 (特集 統計学/データサイエンス) 6 . 最初と最後の頁 140-144 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	2 . 論文標題	5.発行年
Movement in Japan 6 . 最初と最後の頁 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 国際共著 オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 4 . 巻 北中淳子 4 . 巻 2 . 論文標題 生き生きとしたデータ: 戦後地域医療と健康 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 現代思想 (特集 統計学/データサイエンス) 6 . 最初と最後の頁 140-144 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		2020年
3 . 雑誌名 Medical Anthropology Quarterly 6 . 最初と最後の頁 119-135 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 北中淳子 4 . 巻 48(12) 2 . 論文標題 生き生きとしたデータ: 戦後地域医療と健康 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 現代思想 (特集 統計学/データサイエンス) 6 . 最初と最後の頁 140-144 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	In the Mind of Dementia: Neurobiological Empathy, Incommensurability, and the Dementia Toiisha	
Medical Anthropology Quarterly 119-135 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無有 オープンアクセス 国際共著 - 1. 著者名北中淳子 4. 巻 48(12) 2. 論文標題生き生きとしたデータ:戦後地域医療と健康 5. 発行年生き生きとしたデータ:戦後地域医療と健康 3. 雑誌名現代思想(特集統計学/データサイエンス) 6. 最初と最後の頁140-144 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無無無 オーブンアクセス 国際共著		2020—
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	Movement in Japan	
なし 有 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1.著者名 北中淳子 4.巻 48(12) 2.論文標題 生き生きとしたデータ:戦後地域医療と健康 5.発行年 2020年 3.雑誌名 現代思想(特集統計学/データサイエンス) 6.最初と最後の頁 140-144 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著	Movement in Japan 3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
なし 有 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1. 著者名 北中淳子 4. 巻 48(12) 2. 論文標題 生き生きとしたデータ: 戦後地域医療と健康 5. 発行年 2020年 3. 雑誌名 現代思想(特集 統計学/データサイエンス) 6. 最初と最後の頁 140-144 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著	Movement in Japan 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
なし 有 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1. 著者名 北中淳子 4. 巻 48(12) 2. 論文標題 生き生きとしたデータ: 戦後地域医療と健康 5. 発行年 2020年 3. 雑誌名 現代思想(特集 統計学/データサイエンス) 6. 最初と最後の頁 140-144 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著	Movement in Japan 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1 . 著者名 北中淳子 4 . 巻 48(12) 2 . 論文標題 生き生きとしたデータ: 戦後地域医療と健康 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 現代思想 (特集 統計学/データサイエンス) 6 . 最初と最後の頁 140-144 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	Movement in Japan 3.雑誌名 Medical Anthropology Quarterly	6 . 最初と最後の頁 119-135
オープンアクセス 国際共著	Movement in Japan 3.雑誌名 Medical Anthropology Quarterly	6 . 最初と最後の頁 119-135
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 北中淳子 4 . 巻 48(12) 2 . 論文標題 生き生きとしたデータ: 戦後地域医療と健康 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 現代思想(特集 統計学/データサイエンス) 6 . 最初と最後の頁 140-144 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	Movement in Japan 3.雑誌名 Medical Anthropology Quarterly 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	6.最初と最後の頁 119-135 査読の有無
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 北中淳子 4 . 巻 48(12) 2 . 論文標題 生き生きとしたデータ: 戦後地域医療と健康 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 現代思想(特集 統計学/データサイエンス) 6 . 最初と最後の頁 140-144 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	Movement in Japan 3.雑誌名 Medical Anthropology Quarterly 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	6.最初と最後の頁 119-135 査読の有無
1 . 著者名 北中淳子 4 . 巻 48(12) 2 . 論文標題 生き生きとしたデータ: 戦後地域医療と健康 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 現代思想 (特集 統計学/データサイエンス) 6 . 最初と最後の頁 140-144 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	Movement in Japan 3.雑誌名 Medical Anthropology Quarterly 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	6.最初と最後の頁 119-135 査読の有無 有
北中淳子48(12)2.論文標題 生き生きとしたデータ: 戦後地域医療と健康5.発行年 2020年3.雑誌名 現代思想 (特集 統計学/データサイエンス)6.最初と最後の頁 140-144掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	Movement in Japan 3.雑誌名 Medical Anthropology Quarterly 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	6.最初と最後の頁 119-135 査読の有無 有
北中淳子48(12)2.論文標題 生き生きとしたデータ: 戦後地域医療と健康5.発行年 2020年3.雑誌名 現代思想 (特集 統計学/データサイエンス)6.最初と最後の頁 140-144掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	Movement in Japan 3.雑誌名 Medical Anthropology Quarterly 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	6.最初と最後の頁 119-135 査読の有無 有
2.論文標題 生き生きとしたデータ: 戦後地域医療と健康 5.発行年 2020年 3.雑誌名 現代思想 (特集 統計学/データサイエンス) 6.最初と最後の頁 140-144 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	Movement in Japan 3.雑誌名 Medical Anthropology Quarterly 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	6.最初と最後の頁 119-135 査読の有無 有 国際共著
生き生きとしたデータ:戦後地域医療と健康2020年3.雑誌名 現代思想 (特集 統計学/データサイエンス)6.最初と最後の頁 140-144掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	Movement in Japan 3.雑誌名 Medical Anthropology Quarterly 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	6.最初と最後の頁 119-135 査読の有無 有 国際共著 -
生き生きとしたデータ:戦後地域医療と健康2020年3.雑誌名 現代思想 (特集 統計学/データサイエンス)6.最初と最後の頁 140-144掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	Movement in Japan 3.雑誌名 Medical Anthropology Quarterly 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	6.最初と最後の頁 119-135 査読の有無 有 国際共著 -
生き生きとしたデータ:戦後地域医療と健康2020年3.雑誌名 現代思想 (特集 統計学/データサイエンス)6.最初と最後の頁 140-144掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	Movement in Japan 3.雑誌名 Medical Anthropology Quarterly 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 北中淳子	6.最初と最後の頁 119-135 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 48(12)
3.雑誌名 6.最初と最後の頁 現代思想 (特集 統計学/データサイエンス) 140-144 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	Movement in Japan 3.雑誌名 Medical Anthropology Quarterly 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 北中淳子	6.最初と最後の頁 119-135 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 48(12)
現代思想 (特集 統計学/データサイエンス) 140-144 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	Movement in Japan 3.雑誌名 Medical Anthropology Quarterly 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 北中淳子 2.論文標題	6.最初と最後の頁 119-135 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 48(12) 5.発行年
現代思想 (特集 統計学/データサイエンス) 140-144 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	Movement in Japan 3.雑誌名 Medical Anthropology Quarterly 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 北中淳子 2.論文標題	6.最初と最後の頁 119-135 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 48(12) 5.発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	Movement in Japan 3 . 雑誌名 Medical Anthropology Quarterly 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 北中淳子 2 . 論文標題 生き生きとしたデータ: 戦後地域医療と健康	6.最初と最後の頁 119-135 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 48(12) 5.発行年 2020年
# また	Movement in Japan 3 . 雑誌名 Medical Anthropology Quarterly 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 北中淳子 2 . 論文標題 生き生きとしたデータ: 戦後地域医療と健康 3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁 119-135 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 48(12) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
# また	Movement in Japan 3.雑誌名 Medical Anthropology Quarterly 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 北中淳子 2.論文標題 生き生きとしたデータ:戦後地域医療と健康 3.雑誌名	6.最初と最後の頁 119-135 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 48(12) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
なし 無	Movement in Japan 3 . 雑誌名 Medical Anthropology Quarterly 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 北中淳子 2 . 論文標題 生き生きとしたデータ: 戦後地域医療と健康 3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁 119-135 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 48(12) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
オープンアクセス 国際共著	Movement in Japan 3 . 雑誌名 Medical Anthropology Quarterly 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 北中淳子 2 . 論文標題 生き生きとしたデータ: 戦後地域医療と健康 3 . 雑誌名 現代思想 (特集 統計学/データサイエンス)	6.最初と最後の頁 119-135 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 48(12) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 140-144
	Movement in Japan 3 . 雑誌名 Medical Anthropology Quarterly 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 北中淳子 2 . 論文標題 生き生きとしたデータ: 戦後地域医療と健康 3 . 雑誌名 現代思想 (特集 統計学/データサイエンス)	6.最初と最後の頁 119-135 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 48(12) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 140-144
	Movement in Japan 3. 雑誌名 Medical Anthropology Quarterly 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 北中淳子 2. 論文標題 生き生きとしたデータ: 戦後地域医療と健康 3. 雑誌名 現代思想 (特集 統計学/データサイエンス) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	6.最初と最後の頁 119-135 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 48(12) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 140-144 査読の有無
	Movement in Japan 3.雑誌名 Medical Anthropology Quarterly 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 北中淳子 2.論文標題 生き生きとしたデータ:戦後地域医療と健康 3.雑誌名 現代思想(特集統計学/データサイエンス) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	6.最初と最後の頁 119-135 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 48(12) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 140-144 査読の有無
	Movement in Japan 3. 雑誌名 Medical Anthropology Quarterly 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 北中淳子 2. 論文標題 生き生きとしたデータ: 戦後地域医療と健康 3. 雑誌名 現代思想 (特集 統計学/データサイエンス) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	6.最初と最後の頁 119-135 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 48(12) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 140-144 査読の有無 無

1.著者名 北中淳子 2.論文標題	
北中淳子	4 . 巻
	25(3)
2.論文標題	(-)
2 . 論文標題	
	5 . 発行年
認知症のイメージを耕す:共感の医療人類学	2020年
	2020-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
最新精神医学 (特集 認知症医療現場の諸風景)	177-184
以利用中位于 (15未 100A/IEC/以为20日本以)	177-104
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
	当 际六有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 ***	4 244
1 . 著者名	4 . 巻
北中淳子	49(2)
	. ,
44.1707	
2 . 論文標題	5 . 発行年
絶望のデータ化:デジタル精神医学の時代	2021年
MCエン・ フロ・ファフル型 IT 位 T シャリー	-VL 1 —
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
現代思想 (特集 精神医療の最前線 コロナ時代の心のゆくえ)	36-45
光10心心 (17米 特性区域の取削数 コロノザ(00000)ダイス)	30-43
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
拘載論又UUUI(デンタルオフシェクト識別士)	宜祝の有無
なし	無
+ -1\-757	国際共英
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
The state of the s	
1.著者名	4 . 巻
北中淳子	47(2)
۱٬۱۰٬ ۱۰٬۵۰۱ ما	(4)
2 . 論文標題	5 . 発行年
	2021年
患者から学ぶ:依存への怖れと憧れ	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
精神療法	267-269

掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	~~
	国際共著
オープンアクセス	
	-
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	<u>-</u>
	<u>-</u>
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- 4 . 巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	4 . 巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- 4.巻 ⁷⁹
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	_
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Junko Ki tanaka	79
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Junko Ki tanaka 2 . 論文標題	5 . 発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Junko Ki tanaka	79
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Junko Kitanaka 2 . 論文標題 Book review The Invention of Madness by Emily Baum: Recovering Incommensurability: Theorizing	5 . 発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Junko Kitanaka 2 . 論文標題 Book review The Invention of Madness by Emily Baum: Recovering Incommensurability: Theorizing Psychiatry in Asia	79 5.発行年 2020年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Junko Kitanaka 2 . 論文標題 Book review The Invention of Madness by Emily Baum: Recovering Incommensurability: Theorizing Psychiatry in Asia 3 . 雑誌名	79 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Junko Kitanaka 2 . 論文標題 Book review The Invention of Madness by Emily Baum: Recovering Incommensurability: Theorizing Psychiatry in Asia 3 . 雑誌名	79 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Junko Kitanaka 2 . 論文標題 Book review The Invention of Madness by Emily Baum: Recovering Incommensurability: Theorizing Psychiatry in Asia	79 5.発行年 2020年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Junko Kitanaka 2 . 論文標題 Book review The Invention of Madness by Emily Baum: Recovering Incommensurability: Theorizing Psychiatry in Asia 3 . 雑誌名	79 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Junko Kitanaka 2 . 論文標題 Book review The Invention of Madness by Emily Baum: Recovering Incommensurability: Theorizing Psychiatry in Asia 3 . 雑誌名 Studies in History and Philosophy of Biological & Biomedical Sciences	79 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 101204-101204
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Junko Kitanaka 2 . 論文標題 Book review The Invention of Madness by Emily Baum: Recovering Incommensurability: Theorizing Psychiatry in Asia 3 . 雑誌名 Studies in History and Philosophy of Biological & Biomedical Sciences	79 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 101204-101204
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Junko Kitanaka 2 . 論文標題 Book review The Invention of Madness by Emily Baum: Recovering Incommensurability: Theorizing Psychiatry in Asia 3 . 雑誌名 Studies in History and Philosophy of Biological & Biomedical Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	79 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 101204-101204 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Junko Kitanaka 2 . 論文標題 Book review The Invention of Madness by Emily Baum: Recovering Incommensurability: Theorizing Psychiatry in Asia 3 . 雑誌名 Studies in History and Philosophy of Biological & Biomedical Sciences	79 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 101204-101204
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Junko Kitanaka 2 . 論文標題 Book review The Invention of Madness by Emily Baum: Recovering Incommensurability: Theorizing Psychiatry in Asia 3 . 雑誌名 Studies in History and Philosophy of Biological & Biomedical Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	79 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 101204-101204 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Junko Kitanaka 2 . 論文標題 Book review The Invention of Madness by Emily Baum: Recovering Incommensurability: Theorizing Psychiatry in Asia 3 . 雑誌名 Studies in History and Philosophy of Biological & Biomedical Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	79 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 101204-101204 査読の有無 無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Junko Kitanaka 2 . 論文標題 Book review The Invention of Madness by Emily Baum: Recovering Incommensurability: Theorizing Psychiatry in Asia 3 . 雑誌名 Studies in History and Philosophy of Biological & Biomedical Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	79 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 101204-101204 査読の有無

1.著者名 北中淳子	4. 巻 47(12)
2. 論文標題 高齢者倫理 新健康主義 : 日本での認知症予防論争をめぐって (特集 倫理学の論点23)	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 現代思想	6 . 最初と最後の頁 151 -160
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

〔学会発表〕 計36件(うち招待講演 30件/うち国際学会 11件)

1.発表者名

Junko Kitanaka

2 . 発表標題

Emerging spaces of self-reflection: Engaging with Li Zhang's Anxious China

3 . 学会等名

HKU Global Health & Humanities Book Talk Series No. 4, Anxious China: Inner Revolution and Politics of Psychotherapy(招待講演)(国際学会)

4 . 発表年 2021年

1.発表者名

Junko Kitanaka

2 . 発表標題

'Cultivating Empathy: The Rise of Dementia Tojisha (user) Movement in Japan'

3 . 学会等名

Dementia in Society: Reflections from the UK and Japan by the University of Edinburgh (招待講演) (国際学会)

4.発表年

2021年

1.発表者名

Junko Kitanaka

2 . 発表標題

Limits of Empathy: Dementia Tojisha Movement in Japan

3 . 学会等名

American Anthropological Association Annual Meeting (国際学会)

4.発表年

2021年

1. 発表者名
北中淳子
当事者の知としての精神医学
3.学会等名
11回 東京都医学総合研究所シンポジウム「病いは物語である」(招待講演)
2021年
1.発表者名
北中淳子
2. 発表標題
共感の技としての精神医学
- プログログログ - 一
4.発表年
2021年
1. 発表者名
Junko Kitanaka
Commentator
Understanding Care and Healing Beyond the Hospital: Infrastructures, Practices, Engagements(招待講演)(国際学会)
2021年
1.発表者名
Junko Kitanaka
Z . 完衣標題 Towards Global Social Medicine:A Medical Anthropological Approach to Depression
Tomardo orosar occidi medicine. A medicar Antinoperegrear Approach to Depresorum
3 . 学会等名
T復旦大学学生対象「日本と中国の文化交流講座」(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2021年

1.発表者名
北中淳子
2.発表標題
Global Social Medicineに向けて: うつの医療人類学
3.学会等名
慶應義塾大学医学部日吉哲学講座(招待講演)
医 您我至八十 应 于即日日日于两任(11时两次)
. The date has
4.発表年
2021年
1.発表者名
北中淳子
2.発表標題
医療人類学
— 100 C C C C C C C C C C C C C C C C C C
2 26 4 77 5
3.学会等名
TICPOC 文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム 「職域・地域架橋型 - 価値に基づく支援者育成 」 (招待講演)
4.発表年
2021年
2021年
1.発表者名
北中淳子
2 7V → 1X DX
2.発表標題
当事者視点の精神医療に向けてコメンテイター
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター 3.学会等名
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター 3.学会等名 日本精神神経学会
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター 3.学会等名 日本精神神経学会
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター 3. 学会等名 日本精神神経学会 4. 発表年
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター 3.学会等名 日本精神神経学会
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター 3 . 学会等名 日本精神神経学会 4 . 発表年 2021年
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター 3 . 学会等名 日本精神神経学会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター 3 . 学会等名 日本精神神経学会 4 . 発表年 2021年
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター 3 . 学会等名 日本精神神経学会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター 3 . 学会等名 日本精神神経学会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター 3 . 学会等名 日本精神神経学会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター 3 . 学会等名 日本精神神経学会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Junko Ki tanaka
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター 3 . 学会等名 日本精神神経学会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Junko Ki tanaka
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター 3 . 学会等名 日本精神神経学会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Junko Ki tanaka
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター 3 . 学会等名 日本精神神経学会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Junko Ki tanaka
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター 3 . 学会等名 日本精神神経学会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Junko Ki tanaka
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター 3 . 学会等名 日本精神神経学会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Junko Kitanaka 2 . 発表標題 New Healthism in the Dementia Prevention Movement in Japan.
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター 3 . 学会等名 日本精神神経学会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Junko Kitanaka 2 . 発表標題 New Healthism in the Dementia Prevention Movement in Japan.
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター 3 . 学会等名 日本精神神経学会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Junko Kitanaka 2 . 発表標題 New Healthism in the Dementia Prevention Movement in Japan.
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター 3 . 学会等名 日本精神神経学会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Junko Kitanaka 2 . 発表標題 New Healthism in the Dementia Prevention Movement in Japan.
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター 3 . 学会等名 日本精神神経学会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Junko Kitanaka 2 . 発表標題 New Healthism in the Dementia Prevention Movement in Japan. 3 . 学会等名 Forum on Mental Health in East Asia, University of California, Berkeley. (招待講演) (国際学会)
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター 3 . 学会等名 日本精神神経学会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Junko Kitanaka 2 . 発表標題 New Healthism in the Dementia Prevention Movement in Japan. 3 . 学会等名 Forum on Mental Health in East Asia, University of California, Berkeley. (招待講演)(国際学会) 4 . 発表年
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター 3 . 学会等名 日本精神神経学会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Junko Kitanaka 2 . 発表標題 New Healthism in the Dementia Prevention Movement in Japan. 3 . 学会等名 Forum on Mental Health in East Asia, University of California, Berkeley. (招待講演) (国際学会)
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター 3 . 学会等名 日本精神神経学会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Junko Kitanaka 2 . 発表標題 New Healthism in the Dementia Prevention Movement in Japan. 3 . 学会等名 Forum on Mental Health in East Asia, University of California, Berkeley. (招待講演)(国際学会) 4 . 発表年
当事者視点の精神医療に向けて コメンテイター 3 . 学会等名 日本精神神経学会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Junko Kitanaka 2 . 発表標題 New Healthism in the Dementia Prevention Movement in Japan. 3 . 学会等名 Forum on Mental Health in East Asia, University of California, Berkeley. (招待講演)(国際学会) 4 . 発表年

1.発表者名
Junko Kitanaka
2.光花标题 New Healthism in Japan: National Debates Around the Prevention of Dementia
New Hearth 3 apair. National Debates Around the Frevention of Dementia
Imagining Future Relations: Immunity, Ecology and Disease A workshop hosted by the Centre for Biomedicine, Self and Society
at the University of Edinburgh 25-26 February 2021(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2021年
1.発表者名
北中淳子
2.発表標題
「共感」の人類学:当事者科学としての精神医学に向けて
3 · 5 · 5 · 5 · 6
相评评证于公
2020年
1.発表者名
北中淳子
2.発表標題
汝自身を知れ:内省の病に関する医療人類学的考察
うつ病学会
4 · 光农牛 2021年
1.発表者名
40 1 73 3
2 . 発表標題
うつのジェンダー: 医療人類学的視点
2
3.学会等名 ロスランにもとれ、大供「女性のライフステージト女性は左のラントの間後(切体構定)
日本うつ病センター主催「女性のライフステージと女性特有のうつとの関係(招待講演)
4.発表年
4 · 光农牛 2020年
2V2VT

1.発表者名 北中淳子
2.発表標題 自省性と共感の人類学:脳神経科学的自己の時代に
3.学会等名 困難時代の包摂社会のための個体 社会相互作用/共同創造に基づく脳行動科学変革 C班分科会(招待講演)
4.発表年 2020年
1.発表者名 北中淳子
2.発表標題 当事者視点の認知症医療とは?:医療人類学的考察
3.学会等名 第21回認知症当事者勉強会(招待講演)
4.発表年 2020年
1.発表者名 北中淳子
2.発表標題 ストレスの病?:うつの医療人類学
3. 学会等名 第 8回Evidence Based Psychiatry研究会(招待講演)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 北中淳子
2.発表標題 当事者の語り:医療人類学的視点
3.学会等名 経済産業省・認知症未来共創ハブ勉強会(招待講演)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 北中淳子
2.発表標題 ストレス・神経衰弱・うつ病の歴史と意義
3 . 学会等名 北里大学医学部精神神経科研究会(招待講演)
4.発表年 2021年
1.発表者名 北中淳子
2.発表標題
老い・うつ病・認知症:医療人類学的視点
3.学会等名 女性のライフステージと女性特有のうつとの関係(招待講演)
4.発表年 2021年
1 . 発表者名 北中淳子
2 . 発表標題 共感の作法としての精神医学
3.学会等名 東京大学医学部精神科教室PPP研究会(招待講演)
4.発表年 2021年
1.発表者名 Junko Kitanaka
2.発表標題 Cultivating Empathy in the Age of Digital Surveillance in Japan: Depression from a Medical Anthropological Perspective
3 . 学会等名 IMHPJ Award Ceremony(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2021年

1.発表者名 Junko Kitanaka
2.発表標題
New Healthism?: Dementia Prevention in Japan
3.学会等名
American Anthropological Association Annual Meeting(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名
Junko Kitanaka
2 . 発表標題 Psychiatric Screening on a New Care of the Solf in Japan
Psychiatric Screening as a New Care of the Self in Japan
3.学会等名 Past, present and future of phenomenological, interpretative and hermeneutic sociology. A symposium for a partnership
between Keio University and University of Vienna (招待講演) (国際学会) 4.発表年
2019年
1.発表者名
Junko Kitanaka
2.発表標題
Medical Anthropology
3.学会等名 Human Ecology I, Tokyo University Medical School Graduate School (招待講演)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名
北中淳子
2.発表標題
認知症という経験に「共感」すること:医療人類学的視点から
3.学会等名
メンタルケア協会(招待講演)
4 . 発表年
2019年

1.発表者名
北中淳子
2. 発表標題
シンポジウム 2 社会は認知症ケアと医療をどのように見てきたのだろうか 人類学の視点から
3.学会等名
日本認知症ケア学会(招待講演)
4 . 発表年
2019年
1.発表者名
北中淳子
4bT/#-]
2.発表標題
精神科診断の社会的機能:医療人類学の視点から
ははいいになり対象的・位法へ終すがにあれています。
3.学会等名
日本精神神経学会
口坐桐忡忡烂子云
4.発表年
2019年
. Webs
1. 発表者名
北中淳子
2
2.発表標題
新健康主義:日本での認知症予防論争
3.学会等名
メンタルケア協会(招待講演)
4 . 発表年
2019年
1.発表者名
北中淳子
2. 発表標題
エビデンスの政治学:当事者研究の最近の動向
3. 学会等名
日本精神神経学会 パラダイムシフト調査班(招待講演)
Control of the state of the sta
4 . 発表年
2019年

1 . 発表者名 北中淳子
2 . 発表標題 当事者同意について
3.学会等名 日本精神神経学会 倫理委員会(招待講演)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 北中淳子
2 . 発表標題 早期発見時代の認知症臨床
3 . 学会等名 メンタルケア協会(招待講演)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 北中淳子
2.発表標題 "東洋的"精神療法?:医療人類学的視点
3 . 学会等名 Open Dialogue 研究会(招待講演)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 北中淳子
2 . 発表標題 日本における「当事者科学」の可能性:エビデンスの人類学
3.学会等名 医療政策機構「メンタルヘルス専門家会合」(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2019年

1.発表者名 北中淳子	
2 . 発表標題 脳神経科学的共感に向けて: 医療人類学の視点から	
3.学会等名	
BSAP エリアアドバイザー Speaker's Program(招待講演)	
4 . 発表年 2020年	
〔図書〕 計4件	
1 . 著者名 Junko Kitanaka, Anne Lovell, Gerald Oppenheimer, et al.	4 . 発行年 2022年
2. 出版社 Rochester University Press	5.総ページ数
3 .書名 Reimagining Psychiatric Epidemiology in a Global Frame: Toward a Social and Conceptual History	
1 . 著者名 春日直樹、竹沢尚一郎、森田良成、金谷美和、北中淳子、浜田明範、深海菊絵、兼松芽永、奥野克巳、松 田素二、中川理、西真如、久保明教、小川さやか	4 . 発行年 2021年
2.出版社有斐閣	5.総ページ数 308
3.書名 文化人類学のエッセンス	
1.著者名 加藤忠史編 狩野祐人・北中淳子・山脇成人・神庭重信・大森哲郎・古川壽亮・榊原英輔・久島周・尾崎 紀夫・松本光之・久保健一郎・福田正裕・西山潤・河上緒・横山仁史,岡本泰昌・宗田卓史・国里愛彦・片	4 . 発行年 2020年
平健太郎その他	
2.出版社 学術書院	5.総ページ数 192
3 . 書名 『精神医学の基盤 4 精神医学の科学的基盤』	

1.著者名 Junko Kitanaka & Stefan Ecks	4 . 発行年 2020年
2. 出版社 Cambridge University Press	5.総ページ数 -
3.書名 Cambridge Encylopedia of Anthropology	

〔産業財産権〕

〔その他〕

_

6 . 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計8件

国際研究集会	開催年
The 24th Keio Symposium on Bridging Humanities, Social Sciences and Medicine:	2022年~2022年
Living Worth	
国際研究集会	開催年
The 17th Keio Symposium on Bridging Humanities, Social Science and Medicine:	2021年~2021年
Investigating Global Social Medicine	
国際研究集会	開催年
医療と人文社会科学の架橋に向けて16 遠隔医療の歴史	2020年~2020年
国際研究集会	開催年
医療と人文社会科学の架橋に向けて17 コロナ下アメリカにおける遠隔サイコセラピー	2020年~2020年
国際研究集会	開催年
医療と人文社会科学の架橋に向けて18: Investigating Global Social Medicine	2021年~2021年
国際研究集会	開催年
The 13th Keio Symposium on Bridging Humanities, Social Sciences and Medicine:	2019年~2019年
Frontiers of Medical Anthropology and Transcultural Psychiatry	
国際研究集会	開催年
	2019年~2019年
Promise of Technology	
国際研究集会	開催年
The 15th Keio Symposium on Bridging Humanities, Social Sciences and Medicine:The	2020年~2020年
Anthropology of Life Course	

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------